



問 「自治会問題」は全て解決したのか

「自治会問題」があって最初の市長選挙があった。この選挙期間中に私は「自治会問題は終わっていないのではないか」として「前葉市長の責任はどうなのだ」という市民の声を複数聞いてきた。

「二度と起こさない」を超えて、市長が市民の理解を得るための、市長の答弁を求める。

答 条例や規則を制定し、内部統制室を設置する組織改革を行った

「自治会問題」については、津市として毅然とした対応が取れなかったことに対して、市長として至らない点があったとずっと申し上げてきた。それをしっかりと、公正公平な市政を遂行できるように新しい条例を作り、新しい体制の下で実行してきているところである。

内部統制室には年間180件程度の相談があり、客観的なアドバイスをしながら、組織としてそういう場面に立ち向かっていくという体制が整いつつあると考えており、当面は内部統制室が後ろ盾となり、さまざまなケースに毅然とした対応ができるような市政を推進していきたい。

— その他の質疑・質問 —

- 子ども医療費の窓口無料化を市長は公約に掲げたが、実現への道筋、また「安定した財源」とは
- リニア中央新幹線三重県駅の開業で、津市民にとって「利便性が高く」なるか
- 全国で起きているマイナンバーカードのトラブルについて。また資格確認書は「届けられる」か
- 物価高騰による低所得世帯支援について など

健康保険証が廃止されることで大きな問題が起きている



問 ごみ出しが困難な世帯への戸別収集によるごみ出し支援を

令和5年3月の第1回定例会で、ごみ出しが困難な世帯への戸別収集によるごみ出し支援について質問した際に、具体的な検討を進めていくと回答していたが、実施に向けた取り組みの状況は。

また、実施していくとするなら、多くの市民の方々が期待している事業であり、令和6年4月からの実施が望まれるが、実施の時期は。

答 令和6年4月に実施できるよう検討を進める

ごみ出しが困難な世帯へのごみ出し支援は、必要不可欠な取り組みとして認識しており、戸別収集による支援の実施を検討している。具体的には、支援を必要とする要介護者や障がい者などの要件について調整しており、どのような収集体制で戸別収集が可能となるのかを環境事業課において実際にシミュレーションしている。

また、実施については、令和6年4月に開始できるように検討を進めていきたい。

— その他の質疑・質問 —

- 市長の所信表明についてビジョンの実現に向けた市政運営のポイントや責務を問う
- LED型防犯灯の更新について予算の積算根拠は、また、申請負担の少ない電気代の支援策を
- 体育館アリーナ等空調整備事業について
- 狭あいな放課後児童クラブの改善と、放課後子ども教室の運営に資する支援のあり方は など

市民の方の約83%が一定条件の下にごみの戸別収集を望んでいる

